

令和4年度実施 指定管理者モニタリングシート

施設の概要			
施設の名称	福祉センター愛の郷・福祉センターラポール秦荘いきいきセンター・福祉センターラポール秦荘はつらつドーム	施設所管課	福祉課
指定管理者名	社会福祉法人愛荘町社会福祉協議会	選定方法	非公募
指定期間	平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日 (4年度目)	点検日	令和4年5月
施設設置目的	<p>【愛の郷・いきいきセンター】 地域住民の福祉ニーズに応じた、各種福祉サービス、福祉情報の提供等を総合的に行い、住民の福祉の増進および福祉意識の高揚を図る。</p> <p>【はつらつドーム】 家族や地域団体が健康増進を目的としたスポーツ等を楽しむことを目的とする。</p>		
施設規模	<ul style="list-style-type: none"> ・愛の郷 鉄筋コンクリート平屋建 1702.70㎡ 敷地面積6023.62㎡ ・いきいきセンター 鉄筋コンクリート平屋建 1,682.69㎡ 敷地面積10176.03㎡ ・はつらつドーム 鉄筋コンクリート平屋建 延床面積2271.6㎡ 		
業務概要	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運營業務 老人福祉施策、介護保険法に規定する通所介護事業等、生きがい交流活動および児童健全育成事業、人材育成などの研修および育成、各種の相談、情報サービス事業、地域福祉活動の支援、災害発生に伴う支援、その他目的達成に必要な事業 ・管理運營業務 施設の使用、利用・備品貸出 ・維持管理業務 通常清掃業務、点検・保全業務、維持管理業務 		

収支状況および利用状況						
	①	②	③	対前年度増減		過去平均
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	①・②	②・③	
収入(円)	81,200,662	87,906,234	89,581,649	6,705,572	1,675,415	86,229,515
指定管理料	72,391,581	79,383,168	81,344,194	6,991,587	1,961,026	77,706,314
使用料	690,900	204,400	202,100	▲ 486,500	▲ 2,300	365,800
その他	8,118,181	8,318,666	8,035,355	200,485	▲ 283,311	8,157,401
支出(円)	81,200,662	87,906,234	89,581,649	6,705,572	1,675,415	86,229,515
利用者数(人)	60,941	31,006	28,607	▲ 29,935	▲ 2,399	40,185

自己評価および施設所管課評価	
	<p>○管理運営について 施設管理は、福祉センターとはつらつドーム施設を一体的に実施するなど効率的な管理運営を行いつつ、事業運営の透明性と財務規律の強化を図るとともに、コンプライアンスマニュアルに基づいて適正な業務遂行をするなどコンプライアンスの確保や公共性と公益性の高い組織運営に努めました。事業活動にあたっては、年度協定および第2次愛荘町地域福祉活動計画に基づく地域福祉事業や活動の実施、くらしを支える相談支援や介護・障がい福祉サービス事業については、感染予防対策を徹底のうえ、継続して提供することができました。また福祉活動の拠点として多くの住民の方に活用していただけるよう、地域活動用の備品貸出や毎週水曜日の夜間開館、身近な地域の福祉活動やボランティア、福祉団体等の社会福祉活動者の相談や情報提供など、活動を支援しましたが度重なる感染拡大により、やむなく施設の利用を制限し、特に8月～9月の緊急事態宣言下では貸館を一部停止したほか、地域やボランティア活動の休止や自粛の影響により、3施設とも利用者数が減少しました。さらには、毎年度実施する利用者アンケートにより施設内の美観や利用者への接遇に対して、多くの方が施設を利用しやすいと回答をいただき、職員が笑顔で接し、応対が良いと答えられるなど高い評価をいただく一方、施設の老朽による不具合の改善などの声をいただきました。</p> <p>○施設の維持管理について 各種法令等に基づく施設・設備点検のほか、施設内外の自主点検や施設利用後の点検実施に加えて、新型コロナウイルス感染症対策のため施設の消毒作業や手洗い・手指消毒の徹底など適正な維持管理に引き続き努めました。特に、経年劣化による設備・機器類の不具合箇所が顕著になるなか、迅速な対応に努め、緊急性の高い町対応に相当する不具合箇所を迅速に報告し、連携した対応にあたるなど適切な対応に努めました。</p>

指定管理者	自己評価	<p>○事業運営について</p> <p>地域福祉においては、第2次愛荘町地域福祉活動計画の最終年にあたり、これまでの取り組みを評価し、地域福祉活動調査をふまえ、「つながり」をテーマとする第3次愛荘町地域福祉活動計画を策定しました。</p> <p>地域支援では、コロナ禍に対応する新しい生活様式のもと、見守り訪問活動や密を避けたボランティア活動を中心に「つながり」を絶やさないための工夫を働きかけながら、地域福祉活動を少しずつ進めてまいりました。</p> <p>相談支援では、コロナ禍による経済活動の低迷により生活困窮者への支援が長期化するなか、特例貸付や自立支援金の申請期間が度重なる延長が続き、複雑な福祉課題を抱える方々の相談が増加し、丁寧な対応に努め、困りごとを整理しつつ、制度や関係機関へつなぎました。</p> <p>介護・障がい福祉サービスでは、地域密着型通所介護において利用者に新型コロナウイルスの陽性反応が出たため、保健所の自粛要請により3日間休所しましたが、感染対策の徹底を講じたうえで、プログラム内容を工夫しながら、サービス提供を継続することができました。また、地域密着型通所介護事業運営推進会議を開催し、幅広い方々と意見を交換するなど地域に開かれ、透明性の高い事業運営に努めました。</p> <p>一方、社会参加促進型通所介護事業は、不安定な事業運営のなか利用状況に応じて開所日の変更や職員配置の調整、給食提供方法を変更しながら運営に努めてまいりましたが、経営環境は改善できず、関係機関と協議し、検討を重ねた結果、3月31日をもって活動を休止することといたしました。大変心苦しい限りでしたが、利用されていた皆様には次のサービス利用に向けて、関係機関の協力のもと、丁寧な対応に努めました。</p> <p>○収支状況について</p> <p>正規職員一名が育児短時間勤務を取得するなか、職員を補充せずに最小限の職員体制のもと事業展開と効率のよい業務執行を図り、人件費に執行残が生じました。また、光熱水費・燃料費と事務事業費の節減等に努めました。施設備品の老朽化や破損等により、担当課と協議したうえで、会議用テーブルや事務用椅子の更新、大雪に備えて新たに、除雪機1台を整備し、指定管理料を精算して全額返還をおこなった。</p>
	今後の目標	<p>町立福祉センターの各施設の設置目的や役割を果たすため、経営のガバナンス、事業運営の透明性やコンプライアンスを確保した組織運営を図るとともに、感染対策等の危機意識の徹底に努めます。事業展開にあたっては、「みんなで進める 笑顔あふれる福祉のまちづくり」の理念のもとみんながつながり みんなでつながる福祉活動を進めることを目標に、福祉センター愛の郷ではコロナ禍で生活が困窮している方々や福祉課題の解決にむけて相談支援を提供する施設として、福祉センターラポール秦荘いきいきセンターは、介護や障がいのある方にサービスを提供する施設として機能分担し、引き続き各施設を住民のくらしを支える福祉活動拠点として、住民や関係機関・団体の参画のもと、公共性と公益性のある事業や活動を展開していきます。</p> <p>なお、各施設とも整備後20数年が経過し経年劣化等による施設設備の不具合が顕著になり、施設運営に支障が生じている状況もあり、早急な設備機器の更新や改修が必要な状況であります。住民主体の福祉活動の推進や福祉サービスの提供体制を確保するためにも、住民にとって身近で利用しやすい環境が整った施設の管理運営が求められます。</p>
施設所管課	所管評価	<p>緊急時等のマニュアルも作成し、例年どおり消防訓練等を実施されており、危機管理についても施設利用者のことを考えながら対応されている。</p> <p>施設管理も昨年度に引き続き新型コロナ感染症対策をとりながら適切な管理を心掛けるとともに、修繕についても町と協議の上、適切に対応された。</p> <p>また事業面においては、コロナ禍において活動が制限される中、家庭でもできるボランティア活動といった新たな分野を開拓するなど、地域福祉の推進に貢献された。</p>
	指導事項等	特になし

総合評価（指定管理者選定審査委員会）

C（良好）

施設が老朽化する中、事業を継続しながら町と連携し適切に施設管理をされている点の評価する。多くの事業を実施する中、指定管理者・町ともに経営状況の把握に努め、運営のあり方について確認されたい。